



BY KATHY LIEN

今日のFXマーケット 02.02.12
(2012年2月3日発行)

USD: 非農業部門就業者数は100千人が鍵

金曜日に非農業部門就業者数(NFP)の発表を控え、今日の為替市場は終日平静だった。北米市場の終了時点で、米ドルはEUR, GBP, CAD, CHF に対して小幅高となったが、JPY, AUD, NZD に対しては僅かに値を下げた。過去6日間EUR/USDはもみ合いの状態にあるが、米ドル自体はほぼ一貫して下落した。もしNFPが市場の予測を大幅に下回れば、FRBによるQE3発動が早まるとの観測が強まり、ドルがさらに下落することになるだろう。必然EUR/USDも1.32を突破して上昇しよう。しかしそれは雇用の伸びが異常に弱かった場合であり、そもそも大幅な悪化は想定されていない。11月に200千人を新規雇用した米企業は、12月には月間145千人のペースに減速したと思われる。NFPの先行指標の大半が雇用の伸びの鈍化を示唆しているが、極端な悪化を裏付けるほどの内容ではない。NFPが100千人を下回らない場合、米ドルへの影響は軽微となるだろう。今朝バーナンキFRB議長は、昨年度の労働市場の改善が緩慢であったと述べたが、正常な状態への道のりは余りにも長い。FRBは最近発表された経済指標に基づき、2012年度に失業率の一層の低下を見込みながらも、景気刺激策追加の必要性を払拭するほど大幅な改善はないと確信する。バーナンキ議長は、景気回復のペースが苛立たしいほど緩慢であり、消費者が逆風を受け続ける状況に変化はなく、経済は衝撃を受け易い状態にあると感じている。このような状況にあつては、NFPが予想を上回る場合よりも、それを下回る場合の方が、米ドルに対する影響は大きくなるだろう。

まず1月に雇用された季節労働者の解雇が、NFPにマイナス効果をもたらす。ホリデーシーズンの宅配業務用だけでも、40千人が雇用された。民間のADP雇用統計によれば、先月雇用の伸びは12月の292千人から170千人に減少した。ADPが民間就業者数の予測に関して最高の実績を有する訳ではないが、雇用状況の方向性を表す点において、同社のレポートは極めて信頼性が高く、先月の減速を示唆するには十分である。また1月には、新規失業保険申請件数の4週間移動平均値が小幅上昇したが、これもまたNFPの小幅な、しかし最悪とは言えない減少を予測させる。Challenger Grey & Christmasは、企業人員削減数の38%増加を伝えた。消費者信頼感はまだまちまちであり、コンファレンスボードはセンチメントの悪化を、またミシガン大学はその改善を発表した。唯一の明るい兆しは、新規失業保険申請件数が減少を続け、2008年9月以来の低水準となったことだ。米国経済の回復が伝えられる中で、唯一雇用だけが遅れを取っているが、ゆっくりとしかし確実に、労働市場は改善している。残念なことに、世界経済の下振れリスクを緩和できるほど、失業率の低下は十分ではない。欧州のソブリン債務危機が世界を人質状態に取り続ける状況下、FRBがゼロ金利解除の正当性を確信するに十分な状況改善がない限り、米国経済指標の改善がドルに与える影響は限定的なものとなろう。

この24時間、欧州からは何の進展も聞かれない。その結果ユーロは依然米ドルに対して揉み合いの展開を続けている。ダウジョーンズによれば、ドイツ、フィンランド、ルクセンブルグ、オランダの財務相は、金曜日の会合開催で合意した。これに続いて月曜日にはドイツとフランスが会合を行う。何れの会合においても、ギリシャ問題が主要議題になるのは想像に難くない。金曜から月曜にかけて、通貨トレーダーは欧州発のニュースに耳を尖らす状態が続くだろう。

外国為替保証金取引や、CFD、デリバティブその他のレバレッジ取引には高いレベルのリスクが潜在しており、預託した資金を超えて損失を被る可能性もあるため、全てのお客様に適している投資商品とは言えません。本レポートの内容は

- 情報提供の目的にのみ供されるものとし、いかなる投資商品の提供・勧誘その他法的に拘束され得る行為、また、それら投資商品の推奨、助言等を意図したものではありません。
- マーケットに関する意見・予想はその正確性や完全性についてそれらを保証するものではありません。
- レポート著者の予想・意見は必ずしも、弊社及び弊社関係者の見方を反映したものではありません。
- 当社は本レポートの内容に依拠してお客さまが取った行動の結果に対し責任を負うものではありません。

弊社及び著者は投資サービス、法律サービス、会計・税制サービスあるいはその他のプロフェッショナル・サービスは提供しておらず、そのような必要が生じた際は適切なプロフェッショナルからサービスの提供を受けてください。同支店は、日本においては、グローバル・フューチャーズ・アンド・フォレックス・リミテッドとして第一種金融商品取引業者登録(関東財務局長(金商)第268号)および商品先物取引業者許可を取得しており、社団法人金融先物取引業協会および日本商品先物取引協会の加盟業者です。www.gftforex.co.jp ©2012 グローバル・フューチャーズ・アンド・フォレックス・リミテッド 著作権/著作権所有。無断複写・複製・転載を禁ず。GD08J.006.011212